

全学アセスメントプラン（大学院）

1 アセスメントの目的

学生や社会の状況を捉え、データに基づくカリキュラムおよび個々の授業、そして学習支援の改善を継続的に行うことを目的として、学修成果のアセスメントを行う。全学としては、毎年実施するアンケートによりデータを収集し、アセスメントを実施する。これに各研究科・学環で実施するアセスメントを総合して、総体としての学生の状況及び個々の学生における能力や学習状況の変化を追跡する。以上を踏まえ、個々の学生に対する学習支援の改善を行うほか、休学・中退や成績不振の予測などへの活用を図る。

2 達成すべき質的水準

達成すべき質的水準は、各学位プログラムのディプロマ・ポリシーにおいて定めている。また、修了生が、修了後に自身の専門性を活かしつつ社会で活躍するための汎用的な能力として、「愛大トランスファラブルスキル」を定めている。

3 アセスメントの方法

No.	名称	時期・頻度	学年	主な質問項目、内容等	手法	実施責任部署	結果の活用方法
1	修了予定者アンケート	毎年1-3月	M2年生	在学中の状況、愛大トランスファラブルスキルの習得状況	Webアンケート	教育・学生支援機構	教育・学生支援機構が教育学生支援会議に報告し、各研究科・学環のカリキュラム改善、学習支援や学習環境の充実、自己点検・評価、情報公開に活用
2	修了生調査	毎年1回	修了後3年を経過した修了生	現在の就業状況、大学に対する満足度、大学で身についた能力、授業や教育プログラムへの意見・要望	Webアンケート	教育・学生支援機構	教育・学生支援機構が教育学生支援会議に報告し、各研究科・学環のカリキュラム改善、学習支援や学習環境の充実、自己点検・評価、情報公開に活用

※アセスメントプランとは —教学マネジメント指針（中央教育審議会大学分科会 R2.1.22）における定義—

学生の学修成果の評価（アセスメント）について、その目的、学位プログラム共通の考え方や尺度、達成すべき質的水準及び具体的実施方法などについて定めた学内の方針。